

3 月度 <b>例会</b> <b>個人</b> 山行報告書		報告者	小田	参加 メンバー	リーダー: 神戸 小田
		報告日	04/11		
山 域	奥美濃石徹白	山行日	2012/03/18(日)		
山 名	野伏ヶ岳				

山行目的	石徹白の山を楽しむ	コースタイム (天候: 天気図記号)	
------	-----------	--------------------	--

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図: 石徹白、二ノ峰、願教寺山

2012/3/18 曇り  
歩行 6 時間

4:30 起床  
5:45 駐車場発  
7:00 一本  
7:15 牧場あと  
7:50 尾根取り付き  
本  
8:40 小田の木 パス  
9:00 一本  
9:24 山頂  
9:45 下山開始  
10:55 牧場あと 一本  
12:00 駐車場着



**山行報告** 2 月の山行では新雪が深く登頂をあきらめた野伏ヶ岳にリベンジすべく、神戸さんと二人で再度チャレンジ。雪が解けはじめていたため、足元は若干柔らかい状態であったが無事に登頂することができ、春山を楽しむことができた。

**【登山概要】**  
17 日の夜から現地へ移動。神社下の駐車場に到着しても小雨が降っていた。明日の朝までに何とか持ち直すことを二人で期待しつつ車内でビールを飲みながら就寝。朝起床すると雨は上がっていた。天気は曇り。神社の中にあるトイレで用を済ませ、出発。先行者はいなかったらしく、雨で柔らかくなった雪の上を歩いていった。林道を途中までつぼ足で登っていき、ショートカットする際にわかんを装着した。1 時間半ほどで牧場あとまで辿りつけたが、そこからは山頂を望むことはできなかった。山頂がガスっていないか心配しながら、さらに登っていった。前回同様、窪地からダイレクト尾根に取り付き、そこから山頂を目指した。前回は新雪が深かったため、このダイレクト尾根をジグザグに登っていったが、今回は雪が柔らかかったものの、すね程度までしか沈みこまず、まっすぐ登っていった。小田の木まで出発から 3 時間程度でたどりつくことができ、そこで記念に写真を撮影。頭から枝までの高さで 2 月の雪が如何に深かったかを再認識した。小田の木から山頂までは急な登りになっており、雪面には亀裂が入っている箇所があり、ここから雪が崩れていくのだろうなどと考えながら恐る恐る、登っていった。山頂は曇っていたが、一瞬視界が開け、となりの難刀山や大日ヶ岳を望むことができた。

下りは 2 時間ほどで降り切って帰路についた。  
**【感想】**無事に前回のリベンジを完了した。前回の山行と所要時間、内容が全くことなり、雪山は雪質一つで全く別物というのを改めて感じた。しかし、時期に応じてそれぞれ顔があり、いつ来ても楽しめそうである。四季折々、さまざまな山を今後も楽しんでいきたい。



**リーダー所見** 今回も天候によっては又判断が必要かと心配したが、登頂できて本当に良かった。雪山の恐ろしさの一つは行動距離を読めない所だ。自分自身も経験が浅いので、手早い決断・行動ができるよう経験を積んでいきたい。



確認 (リーダー) **神戸**  
12/04/11  
作成 (報告者) **小田**  
12/04/10